

# 営利企業の兼業 (赤枠内のみ記入願います。)

◎この欄はこちらから文書を送付するときや、連絡を取るときに必要となります。

◎具体的に詳しく記入してください。

変則的な場合は「その他」の欄に詳しく記入してください。

別紙第1

兼業依頼状(兼業許可申請書・許可書)

大阪大学 総長 殿 貴学下記教職員に兼業を依頼したいので御同意くださるようお願いいたします。 法人等名 ○○○○ ○○○○ 代表者 ○ ○ ○ ○		文書番号: ○○○○第××××号 令和 元年 5月 1日 兼業先法人等の所在地等 〒○○○-○○○○ 大阪市阪大区阪大町3-4-5 担当部署、担当者、連絡先電話番号 総務部企画課 ○○○○ △△-△△△△-△△△△ <input type="checkbox"/> 別添省略
法人等の種類: 株式会社	勤務態様 <input type="checkbox"/> 毎 曜日 時 分~ 時 分 <input checked="" type="checkbox"/> (年・月・ <u>期間内</u> 週) につき <u>3</u> 回 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 1回あたり <u>2</u> 時間	兼業予定期間 <input checked="" type="checkbox"/> 兼業許可日 <input type="checkbox"/> 令和 年 月 日 から 令和 2年 3月31日 まで
事業内容: この法人は、南東アジア及び大洋州地域の鉄鉱産出国において教育・学術・ 科学技術分野の助成を行い、わが国との国際相互理解を深め、国際親善に寄与 することを目的とする。 ◎定款等の「目的」にあたる項目を記入してください。	報酬 <input type="checkbox"/> 無 (旅費のみの場合も含む) <input checked="" type="checkbox"/> 有 <u>1</u> (月・日・ <u>回</u> 時間) につき 20,000円 その他 ( ) ◎旅費のみの場合は報酬無の扱いになります。報酬額については、明確に記入してください。	本依頼状に対する大阪大学総長(又は所属長)の回答書(許可書) 必要の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
兼業従事者 氏名: 阪大太郎 職名: 教授 所属: 大学院○○○学研究所 ◎所属長たる職に対する依頼の場合は『大学院○○ 研究科長』等と記入してください。	◎職務内容を具体的に記入してください。この欄の業務以外に従事することはできません。 治験に携わる場合は、必ずその旨記入してください。	◎法人等名(代表者名・事業内容を含む) <input type="checkbox"/> 役職名 <input type="checkbox"/> 職務内容
◎職名: 技術アドバイザー 職務内容: 弊社で実施している調査研究活動において、専門的見地から技術指導を行う。		
本兼業について開示請求があった場合、開示することによって法人の権利、利益を害するおそれがあるなどの理由により、開示して差し支えのあるものがあれば、右欄に表示してください。ただし、大阪大学の情報公開の取扱い基準では、兼業は原則開示する方針としておりますので、表示があっても必ず不開示となるものではないことを、あらかじめご理解願います。また、開示請求があった場合、改めて不開示理由についてご照会することがありますので、あらかじめご承知おきください。		
※兼業従事者記入欄 上記兼業を【 <input type="checkbox"/> 所定労働時間外 <input type="checkbox"/> 所定労働時間内(国立大学法人大阪大学教職員兼業規程第12条各号のいずれかに該当し給与減額なし) <input type="checkbox"/> 所定労働時間内(給与減額に同意) 】 に従事したいので許可を申請します。 令和 年 月 日 氏名 _____ 印 ◎兼業従事者が記入		
※事務記入欄	事務受理年月日 令和 年 月 日	令和 年 月 日(兼業許可日) 阪大 第 号
国立大学法人大阪大学教職員兼業規程第3条第2項に基づき、上記の兼業を許可する。 ◎遡及して許可をすることはできません。具体的な日付を入れてください。 ◎当該兼業のご依頼に対し本学の回答文書の必要の有無をお知らせ願います。 開始日については、兼業許可日からであれば「兼業許可日」にチェックを入れてください。 『有』の場合は、宛名を記載した返信用封筒を同封していただけますよう 所属長たる職に対する兼業依頼の場合は所属長の任期終了までの間で従事可能です。 ご協力願います。		